

## 全校集会 校長講話（5月7日）

### テーマ：「尊厳」を守ること

おはようございます。ゴールデンウィークが明けました。心のエネルギーはしっかり充電できましたか。今日からまた学校生活が始まります。頑張っていきましょう。

さて、今年は、今日5月7日を、田辺中学校では「『いじめ』について考える日」、そして「『いのち』について考える日」と決めました。連休が明けたこのタイミングで、なぜ全員でこのことを考えるのか。今日はこれまでの全校集会で伝えてきたことを踏まえて、非常に大切に、かつ少し厳しい話をします。

まず、改めて確認します。「いじめ」とは何でしょうか。

それは、特定の誰かに対して、心理的・物理的な影響を与え、相手が心身の苦痛を感じる行為をさします。叩いたり蹴ったりする暴力はもちろんですが、悪口、仲間はずれ、無視、そしてSNS上での誹謗中傷。これらはすべて、相手の心を切り刻む「刃物」です。相手が苦痛を感じているのであれば、それは例外なく、「いじめ」です。

ここで、強い決意を伝えます。田辺中学校は、「いじめを絶対に許さない」場所です。よく「いじめられる側にも原因があるのではないか」と口にする人がいますが、それは明確な間違いです。たとえ相手と意見が合わなくても、誰かに「ムカつく」と感じたとしても、それを「いじめ」という形でぶつけてよい理由には、絶対になりません。いじめは、理由がどうあれ、人間として決して許されない卑劣な行為です。

なぜ、いじめがこれほどまでに重い問題なのか。

それは、いじめが、皆さんの「教育を受ける権利」を奪い、皆さんの「いのち」そのものを危険にさらす恐れがあるからです。皆さんに今日、覚えておいてほしい言葉があります。それは、「尊厳」という言葉です。

「尊厳」とは、一人一人が、誰にも侵されない「かけがえのない存在」として大切にされるべきだ、という考え方です。4月の全校集会で話をした福沢諭吉の「独立自尊」。自分を敬い、自分の力で立つという精神は、同時に「相手を敬うこと」でもあります。クラスの「絆」や「団結」を大事にすることも大切ですが、それ以上に重要なのは、「相手を好きか嫌いにかかわらず、一人の人間として、その尊厳を尊重すること」です。心が通い合わなくても、好きになれなくても、相手の「尊厳」という聖域に土足で踏み込んではいけません。これが、私たちが人間として、そして「自立」した大人になるために守らなければならない最低限のルールです。

今日の6時間目、各クラスで道徳の教材を使って「いじめ」と「いのち」についての学びを深めてもらいます。「自分だったらどうするか」「自分に何ができるか」を、どうか他人事ではなく、自分のこととして真剣に考えてみてください。もし、今いじめに苦しんでいる人がいたら、勇気を出して教えてください。先生たちは皆さんの味方であり、皆さんの「尊厳」を守ることを、何よりも最優先に考えて動きます。学校の先生以外にも、電話やメールで相談できる「いじめ SOS」などの場所も用意されています。決して一人で抱え込まないでください。

最後に。「言葉、ちゃんと使えよ。人間だろ。」あの猫の言葉を、もう一度思い出してください。

皆さんの持つ「言葉」という素晴らしい力を、誰かの「いのち」を守るために、誰かの「尊厳」を称えるために使ってください。

一人一人が自分と仲間の「尊厳」を大切に。そんな、誰にとっても心から安心できる田辺中学校を、今日からまた、皆さんと一緒に作っていきたいと思います。以上で、校長先生の話が終わります。